議事要旨(9)企業結合専門委員会における検討状況について

冒頭、逆瀬副委員長（専門委員長）より、今後のスケジュールとして、論点整理に寄せられたコメントの分析を行い、その後、コメントを踏まえ検討を行い、6月末を目途に公開草案の公表を予定している旨の説明がなされた。

引き続き、秋葉主席研究員より、論点整理に寄せられた主なコメントとそれについての専門委員会の検討状況について説明がなされた（審議資料である審議資料（9）には、昨日開催の専門委員会の議論は反映されていない）。

【論点１－１】については持分プーリング法を廃止する方向で検討する。

【論点１－２】取得企業の決定については国際的な会計基準の決定方法を踏まえて検討する。

【論点２】株式対価の測定日については論点整理でも方向性を出しておらず、引き続き検討している。

【論点３】負ののれんの会計処理については利益を認識する方向で検討している。

【論点４】少数株主持分の測定については、全面時価評価法のみとする方向で検討する。

【論点５】段階取得における会計処理については支配獲得日に時価評価する（関連会社株式から子会社となった場合は事業投資の継続のため対象としない）考えが示されており、コンバージェンスに沿った方向性である。

【論点６】外貨建のれんの換算方法については、決算日の為替相場により換算する方向で検討する。

これらの説明に対し、委員等からの質問等はなかった。

以　上

(財)財務会計基準機構の Web サイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。